

えげおさんざん

笑顔 燦 燦



八代小学校だより

八代小に、子供たちの声と笑顔が戻ってきました！

～ 6月1日から学校再開 ～

コロナウイルス感染拡大防止のため、4月15日から47日間の及んだ臨時休業（休校）が終わり、6月1日（月）からようやく学校再開となりました。途中、臨時登校日や事前登校日はあったものの、正式な学校再開に、子供たちも教職員も、安堵と喜びを感じているところです。子供たちは、二週間の事前登校で生活のリズムを取り戻してきており、6月1日から全力で学習や運動に取り組んでくれるものと思っています。

しかしながら、まだまだ油断することはできない状況です。学校では、子供たちの健康と命を守るため、「八代小学校学校再開ガイドライン」を定めて、子供たちに生活の仕方等を指導すると共に、できる限りの感染防止対策を行ってまいります。ご家庭におかれましても、日々の検温やマスク着用等のご協力をよろしくお願いいたします。

なお、感染のリスクが高い学習活動を伴う学習（対面やグループでの学習）については、指導方法を変更したり、二学期の単元と入れ替えたりしながら、可能な限りの安全性を確保して学習を進めて行く予定です。

また、学校外部との接触を極力避けるため、ゲストティーチャー等を招いての学習等についても、当面の間は見合わせます。



マスクをつけて登校

感染防止の基本は、
しっかり手洗い！

人と人との距離は1m以上に！人数の多い学級は2教室を使います。



児童の下校後は、校舎を清掃・消毒



ソーシャルディスタンスを保って



北岡教育長から表彰状を伝達されました。

文部科学大臣賞をいただきました！

～ 子供の読書活動優秀実践校表彰 ～

本は、知識を広め、心を豊かにする、私たちにとってとても大切な友です。そして、子供の頃から、「よい読書習慣」を身につけることは、生涯学習の視点からもとても有意義なことだと思います。

八代小学校でも、子供たちに本に親しんでもらい、よい読書習慣も身につけてもらうために、様々な取組を進めてきました。

昨年度は、子供たちが組織する図書委員会を中心に、「1年間の図書室の本の貸し出し冊総数を50,000冊にしよう！」を合い言葉にして、「児童や教師の読み聞かせ会」「しおりづくり」「季節やおすすめの本の紹介」など、様々な取組を行ってきました。PTA図書委員のみなさんにも「読み聞かせ」の協力をいただきました。その結果、昨年度の貸し出し冊数は50,000冊を越えることができました。この数字は、一人当たり平均で年間150冊を越える本を読んだことを意味しており、中には年間400冊の本を読破した人もいたようです。本が子供たちにとって身近な存在になっていることは、とても嬉しいことです。

そして、この取組が評価され、熊本県教育委員会の推薦を受け、文部科学省から「子供の読書活動優秀実践校」の表彰をいただくことになりました。

インターネット等データ媒体が大きな存在になる時代になりましたが、これからも本が私たちにとって、よき友であり、よき相談相手であり、よき師であり続けることは間違いはないと思います。これからも子供たちに「よい読書習慣」を育む取組を続けていきたいと思っています。



図書委員の読み聞かせ